

VI 積立金の状況

積立金現在高は、第35表のとおりである。

平成19年度末における積立金現在高は766億4,556万円で、基金取崩額が、暖冬による除排雪経費の大幅な減少等により少額で済んだ前年度に比べて増加したものの、歳計剰余金処分を含めた積立額が取崩額を上回った結果、積立金全体で前年度末に比前年度に比べ20億9,344万円、2.8%増加している。

積立金現在高を目的別にみると、財政調整基金は208億5,919万円で前年度に比べ9億6,383万円、4.8%増加、減債基金は182億3,471万円で3億2,799万円、1.8%増加、その他特定目的基金は375億5,166万円で8億162万円、2.2%増加となっている。

第35表 積立金現在高の推移（年度末現在高）

(単位：千円)

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
財 政 調 整 基 金	20,400,001	18,848,745	19,774,898	19,895,359	20,859,185
減 債 基 金	23,273,666	17,704,663	16,076,259	17,906,720	18,234,709
そ の 他 特 定 目 的 基 金	38,576,330	30,184,465	29,209,252	36,750,038	37,551,662
合 計	82,249,997	66,737,873	65,060,409	74,552,117	76,645,556

VII 地方債の状況

地方債現在高は、第36表のとおりである。

平成19年度末における地方債現在高は8,046億6,712万円で、前年度に比べ156億1,571万円1.9%減少している。地方債現在高を目的別にみると、一般単独事業債が最も大きな割合（40.3%）を占め、以下、臨時財政対策債（16.9%）、教育・福祉施設等整備事業債（9.5%）、一般公共事業債（7.7%）、過疎対策事業債（5.1%）の順となっている。

第36表 地方債現在高の推移（年度末現在高）

(単位：千円)

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
市 計	526,170,083	573,279,186	574,251,110	573,674,798	568,610,901
町 村 計	298,452,918	253,829,709	251,151,228	246,608,034	236,056,222
市 町 村 計	824,623,001	827,108,895	825,402,338	820,282,832	804,667,123

※ 地方債現在高は、特定資金公共投資事業債を除いた額である。

※ 前年度数値について修正があった場合は、修正後の数値を記載している。